

令和8年度 サッカークラブ（土） 年間カリキュラム

【ねらい】

- ① 「サッカー」を通して自発性・リーダーシップスキルの向上
- ② 個人スキルの向上・仲間への意識を持つ、コミュニケーションスキルの向上

【支援方針】

- ① 段階を踏んで基礎から練習を行い、試合などの実践に移る。
- ② ルール理解ができるように、繰り返しの経験、個別のサポートを行う。
- ③ 集団意識を持てるように、話し合いの場を設けながら、自己発信や人の意見を聞く経験を積む。

月	活動内容	目的とねらい	身につけて欲しい力 (5領域)	予想される事・注意点 (前年度の課題と今年度の改善点)
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・集団レクリエーション ・基礎体力作り ・基本的動作の習得 ・サーキット 	<ul style="list-style-type: none"> ・協調性・コミュニケーションスキルの向上。 ・蹴る（足でのコントロール）力を培う。 ・一連の動きの確認⇒（蹴る・走る・止まる・パス・シュート）。 ・気持ちの切り替え方を学ぶ。 ★勝った場合…相手に対してどういう態度をとるか・声をかけるか、など。 ★負けた場合…他児を責めず、自身の気持ちの切り替えをどうするかを学ぶ。 ・体力・持久力アップ。 ・基礎技術の習得 	<p>【健康・生活】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体の基本を整える。 ・基本的な生活スキルの獲得。 <p>【運動・感覚】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姿勢保持。 ・粗大運動と微細運動の促進と使い方を学ぶ。 ・保有する感覚の活用。 ・感覚特性への対応。 <p>【認知・行動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五感の感覚や認知の活用。 ・知覚から行動への認知過程の発達と向上。 ・概念の形成（数、大小、色など）。 ・場に適した行動ができるようになる。 <p>【言語・コミュニケーション】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語の形成と活用。 ・受容言語と表出言語の増加。 ・人との相互作用によるコミュニケーション能力の向上。 ・コミュニケーションツールの開拓（指差し、身振り、PECS、サイン、音声、文字等）。 ・読み書き能力の向上。 <p>【人間関係・社会性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アタッチメント（愛着行動）の形成。 ・模倣行動の獲得。 ・感覚運動遊びから象徴遊びへの移行。 ・一人遊びから協同遊びへの移行。 ・自己理解とコントロールができるようになる。 ・集団への参加。 	<ul style="list-style-type: none"> ・慣れない環境で流れが分からない。 ・集団参加の難しさが見られる。 ・知らない他者への発信の難しさがある。 ※各児童、丁寧にアセスメントし、各児童に合わせた支援を行う。
5月				
6月				
7月				
8月	<p>【室内活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体幹トレーニング ・アジリティートレーニング 	<ul style="list-style-type: none"> ・お友達との関わりを意識して活動に参加する。 ・様々な身体の動かし方を体験する。 ・身体を素早く的確に動かす能力の向上。 	<p>【言語・コミュニケーション】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語の形成と活用。 ・受容言語と表出言語の増加。 ・人との相互作用によるコミュニケーション能力の向上。 ・コミュニケーションツールの開拓（指差し、身振り、PECS、サイン、音声、文字等）。 ・読み書き能力の向上。 <p>【人間関係・社会性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アタッチメント（愛着行動）の形成。 ・模倣行動の獲得。 ・感覚運動遊びから象徴遊びへの移行。 ・一人遊びから協同遊びへの移行。 ・自己理解とコントロールができるようになる。 ・集団への参加。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他児に慣れて自ら関わる。 ・少人数内で簡単な自己発信をできるようにする。 ※少人数グループを作り自己発信できる場を作る。
9月				
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・サッカー理解(攻撃と守備) ・他事業所との交流試合 	<ul style="list-style-type: none"> ・実践に活かせる作戦面の強化。 ・他事業所との交流を図ることで個人・チームスキルの強化を図る。 ・試合経験を積む。 	<p>【言語・コミュニケーション】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語の形成と活用。 ・受容言語と表出言語の増加。 ・人との相互作用によるコミュニケーション能力の向上。 ・コミュニケーションツールの開拓（指差し、身振り、PECS、サイン、音声、文字等）。 ・読み書き能力の向上。 <p>【人間関係・社会性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アタッチメント（愛着行動）の形成。 ・模倣行動の獲得。 ・感覚運動遊びから象徴遊びへの移行。 ・一人遊びから協同遊びへの移行。 ・自己理解とコントロールができるようになる。 ・集団への参加。 	<ul style="list-style-type: none"> ・礼儀や挨拶、相手のことを意識できるように普段から意識付けをする。
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・対外試合に向けて (スペシャルニーズ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流試合を通して出た課題や改善点を見つめる。 ・基礎技術・応用技術の向上。 ・チームワークの強化(協調性・コミュニケーション能力)。 	<p>【人間関係・社会性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アタッチメント（愛着行動）の形成。 ・模倣行動の獲得。 ・感覚運動遊びから象徴遊びへの移行。 ・一人遊びから協同遊びへの移行。 ・自己理解とコントロールができるようになる。 ・集団への参加。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他児と意見の食い違いなどで衝突をする ⇒どうやって話し合いをするか・どう対応するかなどを伝える、又は考える場を設ける。
12月				
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・親子サッカーに向けて 	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の練習の成果を発揮する。 ・サッカーを通して親子で親睦を深め互いに一緒に楽しむ。 	<p>【人間関係・社会性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アタッチメント（愛着行動）の形成。 ・模倣行動の獲得。 ・感覚運動遊びから象徴遊びへの移行。 ・一人遊びから協同遊びへの移行。 ・自己理解とコントロールができるようになる。 ・集団への参加。 	
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・対外試合に向けて 	<ul style="list-style-type: none"> ・試合を通して社会性やコミュニケーション能力の向上を図る。 ・諦めずに挑戦する姿勢を養う。 	<p>【人間関係・社会性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アタッチメント（愛着行動）の形成。 ・模倣行動の獲得。 ・感覚運動遊びから象徴遊びへの移行。 ・一人遊びから協同遊びへの移行。 ・自己理解とコントロールができるようになる。 ・集団への参加。 	
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度へ向けて 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主性、積極性の向上。 ⇒自分で考え、行動する力を養う(5・6年生中心)。 	<p>【人間関係・社会性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アタッチメント（愛着行動）の形成。 ・模倣行動の獲得。 ・感覚運動遊びから象徴遊びへの移行。 ・一人遊びから協同遊びへの移行。 ・自己理解とコントロールができるようになる。 ・集団への参加。 	